

図書紹介

医師アタマ 医師と患者はなぜすれ違うのか？

医学書院 2007年 3月

価格(税込) 2,310円 ISBN978-4-260-00404-6

編集 尾藤誠司

(国立病院機構本部 医療部)



ちょっと変わった本、そして、ふざけたタイトルの本？、でも、大まじめに21世紀の医療を考えて書いた本です。

「医師アタマ」は、「科学的根拠に基づいた医療（EBM）」に向き合い、実践を続けるうちに気づきだした新たな医療の壁、すなわち、科学的根拠に基づき推奨される医療を実際の患者さんに適応するときに、患者さん自身の選考や人生観などをどのように扱ったらよいのか、患者さんとどのようにコミュニケーションをとるべきなのか、そして、最終的にどのように判断することが最善の判断になるのか、ということテーマとしています。その壁に対し、EBMの実践者たちが正面突破を図ろうとした試みが本書です。

本書において、我々は、ひとつの仮説をたてました。その仮説とは、「医師の頭の中には、自然科学的な整合性を中心とした独特の世界観と思考プロセスがある。それを、『医師アタマ』とよぶ。そして、患者と医師とのコミュニケーション不全の原因の基本は、一般の考えと、『医師アタマ』との異文化コミュニケーションによるものである。」というものです。この仮説に基づいて、具体的な臨床現場での事例も出しながら、我が国でその黎明期からEBMの実践に取り組んでいた臨床医たちを中心とした7名で本書を書きました。おかげさまで、平成19年3月の発売以来、予想を大きく超えた売り上げと反響をいただいております。

氾濫する医療情報、劇的に変わりつつある患者-医療者関係、医療崩壊を危惧する声、そのような社会状況の中で、本書が、患者も医療者も互いにハッピーになり、ともに健康を考え、話し合うことが出来る医療へのヒントになることがあるのであれば、私にとっては至上の喜びです！ また、当初は医師を主な購読対象として書いた本ですが、ぜひナースやコ・メディカル・スタッフの方、そして、一般の方にも手に取っていただき、楽しんでいただければうれしいです！

「医師アタマ」 目次

- 第1章 医師の頭の中は「イシアタマ」である
- 第2章 医師アタマにとっての「病気」と「健康」
- 第3章 医師アタマが描くプロセス
- 第4章 医師アタマにとって大切なものとそうでないもの
- 第5章 医師アタマと患者
- 第6章 医師アタマの医療はどこに向かうのか？

図書紹介原稿募集

このコーナーへの投稿をお待ちしております。
ご執筆された著書などの紹介を掲載しています。
600～1,000字程度で編集室までお寄せください。

〒152-8902 目黒区東が丘2-5-1
国立医療学会誌「医療」編集室
「図書紹介コーナー」係宛
e-mail: iryo@kankakuki.go.jp
Fax: 03-3411-9421

このコーナーは会員の自著を紹介しております。